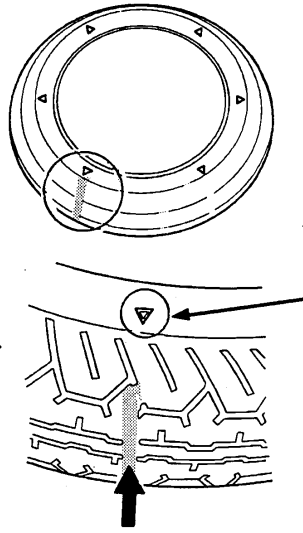


### 《溝の深さと異状な摩耗》

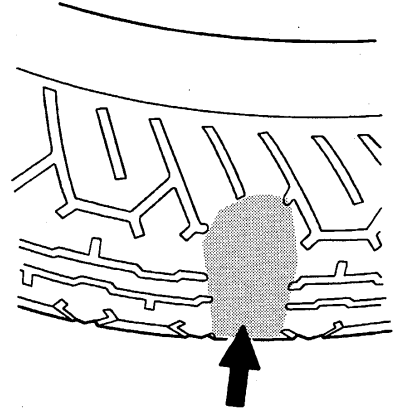
- 溝の深さに不足がないかをウェアインジケータ(摩耗限度表示)により点検します。ウェアインジケータがあらわれたときは、使用限度ですのでただちにタイヤを交換してください。
- タイヤの接地面が異常に摩耗していないかを点検します。

#### ウェアインジケータ (摩耗限界表示)



ウェアインジケータ  
表示マーク

#### 異状な摩耗



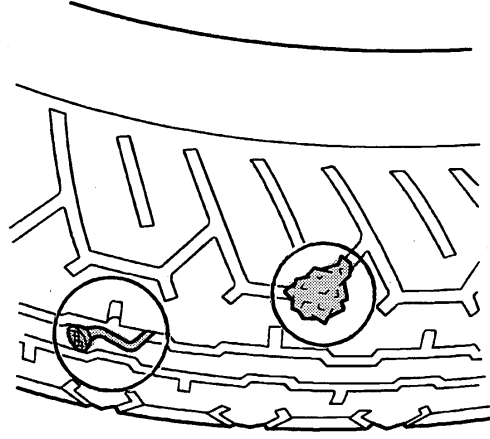
### 《金属片、石などの異物》

タイヤの接地面や側面に、釘や石などがささったり、かみ込んだりしていませんか？

#### 注意

- 空気圧が正常でなかったり、タイヤに亀裂損傷や異常摩耗があるとハンドルをとりれたり、パンクの原因になります。

#### 金属片、石などの異物



### バッテリー液量の点検

この車には、密閉式のメンテナンスフリーバッテリーが装備されております。バッテリー液の点検、補給は不要です。異常が認められた場合は、ホンダ販売店で整備してください。

#### 注意

- 密閉式バッテリーですので、液ロキヤップは絶対に取外さないでください。
- 長期間使用しない場合は、自己放電と電気もれを少なくするため、車からバッテリーを降ろし完全補充して風通しのよい暗い場所に保存してください。
- もし車に積んだまま保存する場合は、**⊖側ターミナルを外してください。**